

【アユ関係書籍のご案内】

(1) 「アユ百万匹がかえってきた」～いま多摩川でおきている奇跡～

田辺 陽一・著 株式会社 小学館 発行

定価：1,470円(税込み)

多摩川が甦った！アユ百万匹回帰の謎を検証

NHK テレビで2002年から2003年にかけて5回にわたりさまざまな番組で取り上げられ大きな反響を呼んだ一連の「よみがえる多摩川」シリーズの文字化・単行本化です。著者の田辺陽一氏は現役のNHKディレクター。学校教育番組「インターネットスクールたったひとつの地球『よみがえる川』(2002年6月12日放映)の取材で出会った多摩川の生き物たちに魅せられ、ついには多摩川のほとりに移り住み毎日観察を続け、見事な番組に仕上げました。その取材の過程で撮影に成功したマルタウグイやアユの貴重な産卵映像が何回も再放送され、そのたびに大きな反響を呼びました。本企画は番組制作の過程やその後知り得た新しい情報、新しい取材・ルポを加えて興味深い内容になっています。

(2) ここまでわかったアユの本 変化する川と鮎、天然アユはどこにいる？

高橋勇夫+東 健作(著) 築地書館 2000円+税 四六判 288頁

2006年2月発行 ISBN4-8067-1323-6

第1章 アユの四季(夏;秋 ほか)

第2章 変化する川とアユ(川の濁りがひどくなった;伏流する水が少なくなった ほか)

第3章 アユの放流再考(放流種苗の種類と特性を知る;放流された湖産アユの運命 ほか)

第4章 漁協が元気な川にアユがいる 漁業協同組合をめぐる新しい動き(物部川~天然アユを増やす;矢作川~環境保全型の漁協へ ほか)

第5章 天然アユを増やすには?(アユの経済価値;消えゆくアユ ほか)

天然アユをたくさん釣りたい!

アユ不漁と消えゆく天然アユ.....。

川と海を行き来する魚、鮎の秘密を探った本。フィールドからのアユ学!

「アユという魚を知れば知るほど、その柔軟性に驚かされる。

そして、その柔軟性こそがアユの最大の強みであるのだ。」(本書より) 川に潜ってアユを直接見てきたアユ研究者がわかりやすく語る、
本当のアユの姿。